2026 年 11 月 25 日

各 位

積水化学工業株式会社

令和 8 年度「水循環 ACTIVE 企業」に認証されました

積水化学工業株式会社（代表取締役社長：清水 郁輔、以下「積水化学」）は、内閣官房水循環政策本部事務局が実施する令和 8 年度「水循環企業登録・認証制度」において、「水量水質カテゴリー」と「人材資金カテゴリー」の両カテゴリーで「水循環 ACTIVE 企業」に認証されたことをお知らせします。

1. 水循環企業登録・認証制度の概要

本制度は、水循環に資する取り組みに関心を有する企業や、実際に取り組みを行う企業を登録・認証し、その取り組みを可視化することで、企業による取り組みのさらなる促進を図り、社会全体で水循環に向き合うことを目的とするものです。2026 年度は、178 社が「水循環 ACTIVE 企業」に認証されました。

2. 認証対象となった 2 つの取り組み

(1)河川放流水の COD※排出量削減（水量水質カテゴリー）

積水化学グループは、「水量水質カテゴリー」において、COD 排出量の多い国内 4 生産事業所を対象に、河川放流水の COD 排出量を 2016 年度比 10%以上削減する目標を設定し、取り組みを推進しました。その結果、2025 年度には 4 事業所合計で 2016 年度比 21.8%削減し、目標を達成しました。

※COD（化学的酸素要求量）：水中の有機物などを酸化するために必要な酸素量を示す指標。数値が低いほど、水質への負荷が小さいことを示します。

(2)滋賀栗東工場における中ノ井川清掃活動（人材資金カテゴリー）

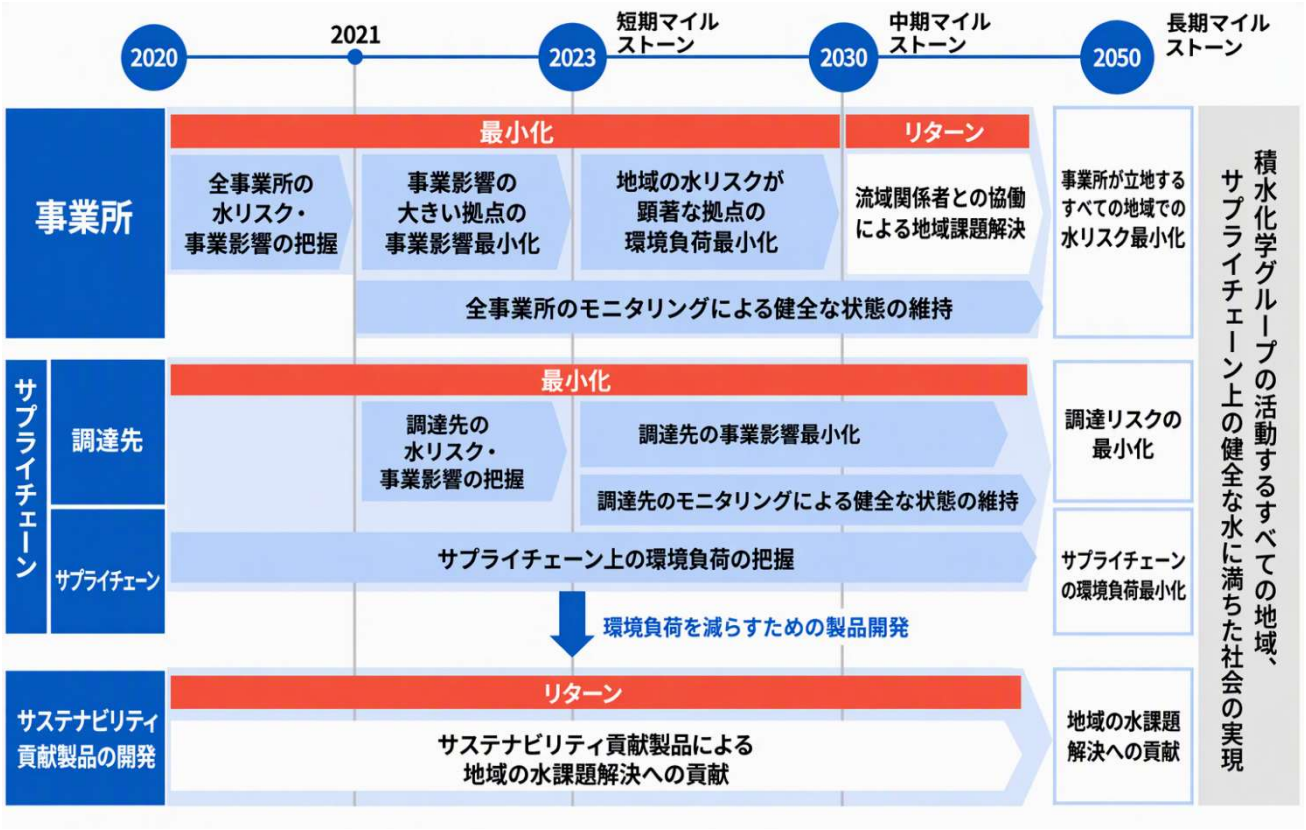
滋賀栗東工場では、地域の河川環境保全を目的に年 2 回の清掃活動を継続しており、2025 年度は従業員 79 人が参加しました。清掃に加え、環境専門家の指導のもと、河川の植物・魚類調査や外来水草の除去を実施するとともに、滋賀県の「魚のゆりかご水田プロジェクト」にも参画しています。

3. 積水化学グループにおける水課題の解決に向けた取り組み

積水化学グループは、SEKISUI 環境サステナブルビジョン 2050 において、あらゆる環境課題の解決に努めることで「生物多様性が保全された地球」をめざすことを宣言しています。環境課題の中でも重要課題の一つである「水リスク」については、2050 年に目指す姿として「健全な水に満ちた社会の実現」を掲げ、「自社拠点（事業所）」「サプライチェーン」「製品・サービス（サステナビリティ貢献製品）」の 3 つの側面から、水課題の解決へ向けた取り組みを進めています。自社拠点では水リスク評価に基づく水使用量や排水水質の管理、水の循環利用、水害への対応を進め、サプライチェーンでは主要原材料のサプライヤーを対象に取水、排水、水害などの調査・対話

を実施しています。また、上下水道・給排水管、雨水貯留・浸透システム、水処理システムなどの製品・サービスを通じ、水インフラの整備や水資源の有効利用に貢献しています。

積水化学グループの水リスク低減に向けたロードマップ



積水化学グループは、これからも、自社拠点およびサプライチェーンにおける水リスクの低減や、製品・サービスを通じた水課題の解決に取り組み、イノベーションの創出を通じて LIFE の基盤を支え、“未来につづく安心”を創造していくことで「健全な水に満ちた社会の実現」を目指していきます。

【参考】

積水化学グループの水リスク低減に向けた取り組みの詳細は、以下のリンクからご覧いただけます。

・「サステナビリティレポート 2026」水リスクの低減

https://www.sekisui.co.jp/sustainability_report/pdf/report_2026/sustainability_report2026.pdf#page=72

以　上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

■報道関係の皆様

積水化学工業株式会社

コーポレートコミュニケーション部　広報グループ　担当：杉本　Mail：kouhou@sekisui.com

■報道関係以外の皆様

ESG 経営推進部　Mail：communication_esg@sekisui.com